

北島、100mで金



男子100m平泳ぎで優勝し、ガッツポーズする北島康介＝水泳センターメインプール(共同)

宿敵ハンセン抑え優勝

【アテネ十五日共同】

アテネ五輪第3日の十五日、競泳男子百メートル平泳ぎで北島康介(日本体大、東京SC)が金メダルを獲得した。昨年の世界選手権平泳ぎ2冠の北島は決勝で1分0秒08をマークし、宿敵のブレンドン・ハンセン(米国)を抑えて優勝した。五輪競泳で日本選手の優勝は、一九九二年バルセロナ大会女子二百メートル平泳ぎの岩崎恭子以来。男子百メートル平泳ぎでは、七二年ミュンヘン大会の田口信教以来、三十二年ぶりの金メダルだった。

トップでゴール。水面をこぶしで何度もたたいて喜びを表した。息を切り「ちよー、気持ちいい」と叫ぶ。十五日の百メートル平泳ぎ決勝で日本のエース、北島康介選

手が世界の頂点に立った。

「やる前からハンセンとの勝負だと。気持ちの面で絶対勝ってやると強い気持ちでスタート台に上った」と北島選手は振り返った。

五輪スタジアムに隣接する水泳センターメインプール。北島選手が登場すると、スタンドからは大歓声が上がった。

十四日の予選で北島選手は、いきなり1分0秒03の五輪新記録。だが最大のライバル、米国のブレンドン・ハンセン選手23が準決勝ですかさず塗り替え、決勝は二人の一騎打ちに。「康介ならやってくれる」。北島選手が所属する東京スイミングセンターの宮城康次所長の期待が現実のものとなった。